



紀宝町

議会だより

第 39 号

平成28年12月1日発行



飛雪の滝

議会日誌

平成28年7月～9月



- 7月 1日 国道169号奥漣道路事業延伸促進協議会通常総会
(北山村)
- 4日 リニア中央新幹線建設促進大会(津市)
- 8日 ダム湖下流団体協議会総会(新宮市)
- 13日 三重県町村議会議長会理事会及び県内行政視察
(町内) 12日まで
- 12日 自治体議員研修(津市)
- 25日 教育民生常任委員会
- 28日 熊野川河口に橋を架ける会要望活動(近畿地方整備局他)
- 30日 中能登町祭「第12回織姫夏ものがたり」
- 8月 2日 熊野川河口に橋を架ける会要望活動
(中部地方整備局他) 3日まで
- 5日 三重県町村議会第68回定期総会及び自治研修会(津市)
- 6日 国道169号線改良促進連絡協議会要望活動
(東京都) 9日まで

- 8月 18日 議会運営委員会
- 20日 紀南介護保険広域連合定例会(熊野市)
- 29日 全員協議会
- 30日 子ども議会(議場)
- 9月 5日 南牟婁郡交通安全対策協議会委員会(御浜町)
- 7日 議会運営委員会
近畿自動車道紀勢線建設特別委員会
- 13日 第3回定例会・第1日目
- 14日 第3回定例会・第2日目
- 23日 第3回定例会・第3日目
- 16日 三重県町村議会議長会監査(津市)
- 29日 紀南病院組合議会定例会(御浜町)
紀南社会福祉施設組合一部事務組合議会定例会(御浜町)

新宮紀宝道路

・新宮紀宝道路について

平野 美津子 議員



平成28年第3回紀宝町議会定例会は9月13日に開会しました。第1日目は、初めに、議長報告と各委員会委員長報告があり、続いて、町長から第2回定例会以降の町行政各般にわたる報告がありました。その後、一般質問が行われ、第2日目の14日にわたり7人の議員が質問に立ち、諸課題について当局の取り組みと考え方を質しました。引き続き、議案審議に入り、東紀州農業共済事務組合関係の協議（3件）、平成28年度一般会計及び国保特別会計補正予算を原案どおり可決しました。第3日目の15日に平成27年度の一般会計及び特別会計（6件）の決算を原案どおり認定し、人権擁護委員の推薦についての答申書を提出して閉会しました。

議員
平成23年の大水害から5年目を迎える9月議会であり、復興も順次行われておりますが、まだまだ高岡の輪中堤内の住宅、被災した住宅がそのまま残っています。アプローチのカフェに高岡で被災された方でコーヒーを飲みに来ていた方にお会いしましたが、家が壊れて紀宝町へ戻ってくる事ができないのだとおっしゃっていました。それで熊野市で知り合いになった方が車に乗せて、アプローチのカフェにお茶を飲みに来てくださっており

ました。そういう方に出会うたびに、災害対策というのは、本当に皆の力で食い止めていく方向性を考えていかなければならないと思われました。新宮紀宝道路の進捗状況及び変更を要望している住民に対しての対応を、今後どのように考えていますか。

産業基盤整備担当理事
本年2月の機能回復道路等の意見交換会、また関係機関との協議を得て予備設計が完了し、国土交通省近畿地方整備局紀南河川国道事務所主催の道路設計及び用地幅杭打設に関する説明

会を6月27日JAGグリーンプラザ、29日まなびの郷で開催し、延べ387名の方々にご参加を頂きました。用地幅杭の打設は、7月14日から紀宝町内での作業を開始し、8月末現在の進捗率は、約94%と伺っております。次に、町独自の取組みとしまして、7月19日から1班2名体制の4班で用地対象者146名の方々に意向調査を行っております。意向調査内容は、移転についての希望確認、用地補償等に関する聞き取りを行っております。国土交通省近畿地方整備局紀南河川国道

事務所からは、10月以降になりませんが、建物等の物件調査を開始する予定と伺っております。町としまして、意向調査に伴う用地対象者への説明会を早期に開催して参りたいと考えております。次にルート変更を要望している住民に対する対応ですが、ルート変更を要望している用地対象者の方々につきましては、意向調査でご意見を伺っており、今後も現ルートでの早期完成・供用に向けてご理解、ご協力を頂けるよう努力して参りたいというふうに考えております。

議員
機能回復の説明会で伺った住民の意見については、どのように対応されていきますか。例えば、住民からいような要望が出てきたと思えます。そのことについて、きつちり国交省と話し合いを持ち、また、住民に返して頂くのが妥当だと思いませんか。そのへんはいかがですか。

産業基盤整備担当理事
機能回復につきましては、予備設計が完了した段階で

住民説明会を開催させていただいたところでございます。排水に対する問題や、また地域を分断してしまうインターチェンジの構造等については、平面交差にするなど、地域分断等にならないような形での計画変更になっていったというふうに考えております。

議員

一番大切なことについて、きちんとして頂いてないと思います。機能回復道路の説明会の折に、すべてを高架にして欲しいということ、実名を書いて要望をしないでいいですか。

産業基盤整備担当理事

ご意見をいただいた資料につきましては、すべて国土交通省に上げさせていただいております。

議員

その要望については、ただ言っていくだけでは、何事も実現しません。多くの方が要望した件につきまして、きちんと対応していく、一つひとつをクリアしていくことによって、両方の話し合いが成立してくると思います。実名も書いて要

望しているのに、その事については何も回答がない。議会であれ、行政であれ、住民の意見をきっちり聞いて対応していけばクリアーできる話だと思います。

産業基盤整備担当理事

様々なご要望をいただくなかで、町としても、ありのままを伝えさせていただいております。事業主体である国が費用対効果や、いろいろな問題を考慮しながら、最適な工法ということでございます。その部分について、町も了解をするなかで、しっかりと事業に取り組んでまいりたいと考えております。

議員

町長の意見もお聞きしたいです。

町長

理事のほうから申し上げさせていただきます。通りでございます。

議員

たくさん意見が出てきたことについて、行政として、それを受け止めて、国の言う通りに動くのではなくて、協議する権利も地方

自治法で認められています。住民の気持ちを受け止めて、町長として盛土にしなければいけないんだったら、理解できるように、説明すべきだと思います。それについて、なんの回答もなく、町長からは言っていないと言っていました。そんな大切な時だからこそ要望している住民さんや、その近辺の方たちと十分お話しをして、町長の言うことが正しければ、住民は納得するでしょう。地方自治には住民自治と団体自治があります。地域の住民の暮らしを守るのに必要だと思えば、国交省に協議することが、町長や自治体の仕事じゃないですか。違いますか。国交省が言うてきたこと、はい、はいと聞いて、それを住民に押しつけるのが自治体の仕事じゃないと私は思います。

※この他に「放課後児童クラブについて」「ごみボックス清掃のための水道の設置について」の質問がありました。



向井 健雅 議員

近畿自動車道紀勢線
(新宮紀宝道路について)

新宮紀宝道路

議員

近畿自動車道紀勢線新宮紀宝道路の早期完成という立場で質問をさせていただきま。過日、委員会で報告がございました。幅杭については、94%完了したということと、意向調査については、146名のうち130名の方に聞き取りを行ったというような状況でござ

ございます。意向調査の中身については、やはり代替地希望者、斡旋の希望者が47名ということ非常に多い人数になってございます。これらの対応について町としての考え方をお聞きします。

産業基盤整備担当理事

地権者の方に対して、町の対応といたしましては、意向調査で一軒一軒の聞き取りを行うなかで、残地や契約補償のスケジュールなど、様々なご意見をいただいております。頂きましたご意見に対しては、用地対象者への説明会を開催し、対応をしてまいります。今月末、または10月頭に、地権者の皆様への説明会の開催を考えているところでございます。また、住居のある方につきましては、約63%の方が代替地を希望しておられます、そのほとんどの方が町内、特に鶴殿を希望していることとございました。代替地の確保につきましても、鶴殿地区を中心に検討してまいりますと共に、町有地以外の土地につきましても、候補地の有無を検討してまいりますというふうに考えており

ます。

議員

用地にかかる方からの不安な点等を聞いておりますか。

産業基盤整備担当理事

意向調査でお伺いしております。補償金の支払い時期や契約時期、または契約後いつまでに退去しないと聞かないのか等、いろんなことを聞かれております。具体的なスケジュール等について国土交通省、三重県、それから紀宝町とですね、説明をさせていただきますたいというふうに考えております。

議員

大多数の地権者が調査に応じ賛同していることから、一層の事業推進を強く要望していただきたいと思いますが、町長の見解をお願いいたします。

町長

町の方から146名の地権者全員に意向調査をさせていただいて、その思いに沿ってですね。町としても対策を考えていく必要があるだろうというところで、取り組みをさせていただいたところでございます。不安を持っておられる方もたくさんいらっしゃる

というのも事実でございます。そういった皆様方に丁寧

に努力をしていくというかたちになるわけでございますけれども。建物等の物件調査が

10月から始まるということ

でございます。国、あるいは県

に対して、住民の立場に立

たかたのなかで、今後、交

渉あるいは要望していかな

ければならないというふう

に思っております。議員の皆

様方におかれまして、そうい

った地域の声とか、ございま

したら、ご遠慮なくお申込み

ただいで共に力を合わせて

すね。地権者の皆様方のご

理解をいただけるように努

力をしております。

今、町長も申されました

が、10月以降に建物等の物

件調査を行うという段階を

経て、来年度、買取という

かたちになるのか、再度確

認をしたいと思

います。

産業基盤整備担当理事

今後、建物調査をさせて

いただくことになり

ますが、土地自体の地価の

調査についても並行して進

められており

まして、それらがまとまり

ましたら、4月以降に、個々

に用地交渉に伺わせていた

だくというふうなスケジュール

今のところ予定しているこ

ろでございます。

議員

立退きを余儀なくされた住

民に対して、町としての対応

ということでございますが、

町は国と共に真摯に対応し、

特に町は住民の立場に立

ていただくということを念頭

に、これから業務に励んで

いただきます。

政策担当理事

今後は事業の推進に当たり

ましては、町は住民さんの

立場に立って、真摯に事業

に取り組んでいくというこ

とで、私どもも町長から強く命

じられております。住民の

皆様の立場に立って、今後、

事業推進をしましてまいり

たいと思

います。

議員

買取契約という段階になり

ますと、いろんな問題がで

てこようかと思

いますが、ひとつ

ひとつ住民の立場に立

って解決をしていただき、

そして道路が早期完成

することを祈



原 章二 議員

・地域医療構想について
・子育て支援と地方創生
について

他

地域医療構想

議員

政府は自宅を最期を迎えたという気持ちを持ち出し、医療、介護の一体的な「改革」が進められようとしていま

す。しかし政府の本音は医療

体制の在り方を変えなければ

医療需要が増大し医療費がう

なぎ上りに増えていく。毎年

一兆円ペースで増え続ける医

療費を抑制することは、軍事

大国を目指す安倍政権にと

って大問題であるわけです。三

重県では1万7000床から

3600床の減、東紀州では

904床から388床の減と

なっていますが、これまで紀

宝町としてはどのような意見

を表明してきたのですか。

健康福祉担当理事

これまで5回の会議が開催

されてきました。紀宝町個別

のことは難しいですが、やはり

中核的な医療機関である紀南

病院の役割が非常に高いと考

えております。これまでも構

成市町と一緒に病床数や病床

機能の確保について県に申し

上げてきました。特に産婦人

科休診の問題については早期

に再開をはかるよう知事に要

望を行ってきたところでござ

います。

議員

必要な医療を必要な時に従

来とおり提供していくこと

は、国、自治体の最低限の責

務と考えます。今後の人口ピ

ジョン計画や地域再生を行

っていくなかで、お医者さん

減らし、看護師さんを減らす

ことは就労の機会均等が失

われ、地域再生に矛盾するもの

と考えます。

子どもの貧困問題

議員

2013年に貧困対策法が成立しました。しかし今日では、6人に1人が貧困状態におかれ、特に一人親家庭においては2人に1人だと言われていると、社会的な問題となっています。しかしその実態が中々把握できないとも言われています。町として今後どのような解決策を考えているのか。

健康福祉担当理事

三重県の貧困対策計画では教育支援、生活支援、親への就労支援について策定されており、町におきましても、今後関係機関と連携しながら取り組んで行きたいと考えております。また実態把握につきましても、いろいろ検討してまいりたいと思います。

議員

今日、スマホがないと学校生活が送れない。お金がないからスマホが持てない。また学校生活にも支障をきたす。これが全国的な状況です。町

内でも小学6年生での所持率は97人中64人が所持し、中学3年生では108人中92人、約85%が所持しています。通話料も一ヶ月4千円から5千円かかります。学校生活についてどのように考えているのか。また就学援助費についての受給者は平成28年度途中では856人中71人と増加傾向にあります。受給資格は生活保護世帯の年収1.0%から1.5%の計算ですがこれらをもっと引き上げることが要望します。

奨学金制度

議員

高すぎる奨学金問題が社会問題となっており、大学生の約4割が奨学金を借り、しかも有利子が7割を占めています。卒業と同時に約300万円から400万円、大学院に進めば1000万円のローンを背負うこととなります。また当町のように都会から遠方の地域では、一か月10万円か

ら15万円の負担となり断念せざるを得ない状況にあります。学びたいと思う若者の願いを叶うような制度を地域の再生として構築すべきではないですか。

町長

町づくりを考えた場合、大学で一生懸命学ばれても当町に帰ってきて頂けないことが一番の損失であると考えております。議員ご指摘のように地域で活動できるような就学資金等を今後の状況を見ながら十分検討していきたいと思えます。また県や紀南病院では、修学、勤務して頂くことによつて免除する仕組みもあり、貧困問題とも踏まえて総合的に検討してもらいたいというふうに思います。

嘱託職員の処遇改善

議員

嘱託職員は医療、技能現業で男子10名、女子27名、計37名ですが処遇改善について勤勉手当では御浜町が既に実施

しております。嘱託職員の皆さんは正職員並みの業務をおこない今後も依存せざるを得ない状況にあります。勤勉手当の導入をおこなうべきではないですか。

総務担当理事

嘱託職員の期末手当は年間3・15で再任用職員の場合、年間期末手当1・45、勤勉手当0・75、年間2・2となっており今後も再任用職員の関係からも慎重に検討したいと思えます。

議員

試算では嘱託職員に勤勉手当を導入した場合1200万円ということですが、すでに一般職員で6600万円要しているわけですから、今後の業務依存度を考慮して是非導入していただきたい。

新宮紀宝道路

議員

この問題についてはこれまで地域住民、町内説明会がおこなわれてきたが平行線のまま解決に至っていない。この

ルートは何故、熊野市ルート、御浜ルート、紀宝ルートのか。トータルで示されなかったのか。トータルで示すことで地域住民は経済的効果、病院等、もっと深い話し合いができたのではないか。

政策担当理事

国の政策審査会では平成23年の大水害によつて、この地域が分断されました。それを受けて、先ず2・4キロだけ先にやりなさいということとございました。

産業基盤整備担当理事

河口部に橋という部分は、これまでアンケートでなされました。また事業費等を勘案した中で新宮紀宝道路が先行されたということとございます。

議員

住宅地を通るのは当町だけ、また工法についても何故土盛りなのか、このような疑問を多くの町民は持っています。国交省は決めたルートを変更する意思は全く見受けられません。今後とも地域住民との話し合いの場をつくり、より良い道路の在り方を決めていくべきことが大事なことで考えます。

福祉の問題を解決するだけでなく、雇用の促進にも繋がるかもしれません。

認知症の人に優しい地域づくり

議員

認知症施策推進総合戦略ということで、厚生労働省から新オレンジプランが出されました。オレンジプランの基本的な考え方は、認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で、自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指すことです。認知症本人の支援だけでなく介護者が家の中で困り果て、仕事にも行けない、そのような困りごとを持っている方がいるかもしれません。介護者に対する福祉的な支援についてお伺いをいたします。

健康福祉担当理事

介護に疲れ、介護者が孤立、場合によっては職を失う

という状況にならないよう細かく、地域に向き、認知症の人と家族への理解を推進するための普及啓発が大事だと思います。相談窓口の体制づくりでは地域包括支援センターで今まで以上に、いろんな地域に出かけて行き、いろんな相談をお伺いし、いろんな対応を図っていくなど、さらにきめ細かくやっていきたいと考えております。



山本 精一 議員

近畿自動車道紀勢線
(新宮紀宝道路) 関連事業
について

新宮紀宝道路

議員

立ち退きを余儀なくされる多数の地権者の皆様に対して、希望する代替地等を町として、どう対応していくのか。また、不足する代替地の確保として、町内の地権者の皆様に代替地の提供を求め、町としてリスト作りが必要ではないでしょうか。

産業基盤整備担当理事

地権者の皆様に対して意向調査を行うなかで、住居がある方の63%が代替地を希望しております。また、ほとんどの方が町内、特に鶴殿区内の高台や居住地の近隣で、現在お住まいの土地と同程度の土地を希望されております。代替地は、鶴殿区内を中心に検討し、民間からの募集についても検討してまいりたいと思います。

議員

土地所有者の方から代替地として売却したいという話を多く聞きます。不動産取引の取決め等があるので、町が斡旋するということは難しいと思います。代替地リストにより、皆様に代替地の紹介をしていただきたいと思えます。次に、国による残地補償

はありますか。

産業基盤整備担当理事

国は全国一律の基準で事業を進め、残地買収は行わないと聞いております。50坪の自宅が5坪残り、価値が下がった等の場合は何割かが補償されると聞いております。

議員

町で残地を買い取る考えはありますか。

産業基盤整備担当理事

全国的な流れのなかで、町で残地を買い取ることは考えておりませんが、検討はしてまいります。

議員

残地を有効利用することはできないですか。

政策担当理事

一律的な残地の買い上げではなく、町おこしや活性化を図るうえでは、一定の残地を活用する可能性はございます。

議員

インターを活用した振興策や環境整備・商業活性化は、町にとって大チャンスです。基金の残高が34億4200万円あります。振興策のために先行投資が必要だと思いますので、基金の取り崩しについ

てはいかがですか。

町長

基金は平成18年に3億4千万円からスタートし、いち地方自治体としては存続が厳しい状況でありましたが、議員、町民の皆様方のご理解をいただくなかで、現在は30億円を超えております。新宮紀宝道路は100年に一度の大事業です。地域振興や町の賑わいをつくるための、かけがえない道路であります。地方創生がさげられるなか、雇用や移住、生活は切っても切れないものであります。空き家、空き店舗、様々な地域の減退が目に見える状況なのか、将来に向けた投資は大事であると思っております。

議員

インターを活用した振興策についてお伺いします。

企画調整課長

気軽に立ち寄れて疲れを癒せる、また地元産品の販売等、街中のオアシス的な施設を検討しており、同様の施設を運営する市町村へ視察を考慮しております。新たな観光資源の発掘を行い、地場産業と地域経済の発展に繋がるような賑わいと交流を創出してま

いりと考えております。

議員

インター周辺で若者が起業できるよう、町で貸店舗を用意し、それを鵜殿駅前商店街まで繋げるような大胆な構想が必要かと思いますが、いかがでしょうか。

町長

若者が商業活動に参加することは大事であると考えております。他地域の事例等も調査研究し、町にふさわしい商店街の形成や賑わいが実現できるように努力してまいります。

議員

前回の定例会で、インター付近の神社や、お寺周辺の道路拡幅を要望しましたがいかがですか。

産業基盤整備担当理事

神社、お寺への町道は幅員が狭く、交通の支障となっております。用地のご協力をいただく必要がございますが、積極的に取組んでまいりたいと思います。

議員

商業活性化について、どのように考えていますか。

企画調整課長

全国的に商店街は、空き店

舗が目立ち、大型ショッピングモールやネット、消費者ニーズの多様化により、取り巻く環境は厳しい状況ですが、商工会や関係団体の皆様方と商業活性化の賑わい創出に努めてまいりたいと思います。

議員

バイパス開通後、交通量が減り客足も少なくなりまして、店の努力も必要ですが、空き店舗が増えると印象も良くありません。空き店舗対策として、新宮市のような家賃補助を、地区を限定してでもやるべきだと考えます。家賃補助により若者が何かをはじめることができる。あとは本人の努力次第ですが、町として、少しの後押しをしていくべきだと考えますが。

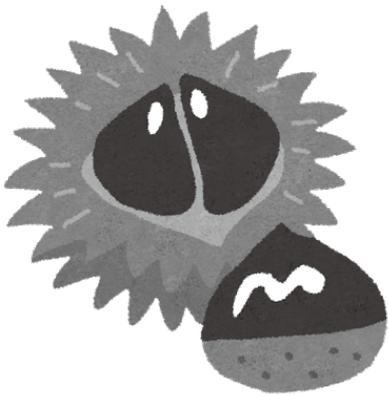
町長

時代を見据えた新たな考え方のなかで商業活動を行い、お客様にお越しいただける方策、そして魅力ある町づくりを進めることは大事であると思っております。やはり地域の商店が一致団結し、賑わいを創出する場や若者が起業できる状況を、インターができるまでに整えていくことが大事であるというふうに考えて

おります。

議員

住民からアンケートを取り、どんな店舗を望んでいるかを把握し、空き店舗でこういうことをしてくれたら補助する等の条件付きの補助を行うことよって、皆様から商店街へ行けば何でもあると思われような商業活性化の創出をお願いしたいと思えます。最後に、新宮紀宝道路は、町や町民にとって大きな価値あるものですが、忘れてはいけないことが、この道路は余儀なく立ち退きされる協力者の方々があつてのことです。私は推進議員として皆様に心から感謝いたしております。



施設の安全・防犯について

浅田 和江 議員



議員

学校施設の安全、防犯について伺います。近隣の小学校で、深夜に火災が発生したというニュースがありました。学校施設における夜間の防犯対策、不審者に対する対策の現状はどのようになっていますか。

教育課長

各小中学校における防犯対策の取組状況ですが、まず学校施設の不審者侵入への対策

施設の安全・防犯

としては、機械警備、防犯カメラ、玄関チャイムの設置をしている学校もございますが、外部からの訪問者は必ず職員室に立ち寄っていたいただき、要件確認等を行っております。また、紀宝警察署の協力のもと防犯訓練の実施や、登下校における不審者対応として、「こども110番の家」に登録いただいております。商店や協力者宅を活用させていただくなど、防犯に関する取組みを行っています。教育委員会の取組みとしては、小学校入学時に全員に防犯ブザーを配布、長期休業前に紀宝警察署、幼稚園長、町内各小中学校長、紀宝町教育委員会が一同に会して、各種の情報交換を行う中で防犯対策の再確認を行っています。また広域的な取組みとしては、熊野市、御浜町、紀宝町の3市町教育委員会及び三重県教育委員会におきまして、不審者情報等の事案の情報共有を行い、幼稚園、学校等にも周知し、指導等の対応を指示しています。また地域や団体等における取組みとしては、各地域で見守り隊の皆様による子ども達の安全確認をはじめ、

青少年健全育成町民会議と紀宝警察署合同での非行防止・防犯パトロールや、PTA等保護者の協力により各地域における夜間巡回パトロール活動などを実施いただいております。

議員

夜間の火災等が発生した場合に、早期に認知するための対応は考えてますか。

教育課長

現状では機械警備等を実施してはいますが、夜間については警察のパトロール等での把握や、また地域の保護者、地域の区の役員にも相談するなかで、早急に連絡が出来るように、連携を深めるような取り組みを図ってまいりたいと考えております。機械警備については、センサー等が設置されており、反応した場合には警備会社に連絡が入るようになっていきます。状況によっては、警備員が学校に来て頂いたり、警察へ対応していただいたりということです。

議員

防犯カメラ等の設置はどのようなになっておりますか。

教育課長

現在、防犯カメラは、鶴殿

小学校、成川小学校、矢測中学校に設置している状況でございます。

議員

3校以外の学校に対して、今後設置などを考えていますか。

教育課長

学校と相談しながら、整備について検討してまいりたいと考えております。

議員

不審者の侵入に対して、教職員間で共通の認識を持つているかということも重要なポイントだと言われております。教職員間で共通認識を持つてもらおう、関心を高めてもらうためにどのようなことが行われているのでしょうか。

教育課長

学校での対応ですが。各学校では不審者の対応マニュアルを整備し、計画に基づいて教職員等が適切に対応すると定められております。また各学校においては警察と連携し、指導をしていただくなかで、防犯対策を進めております。

議員

社会福祉施設の安全、防犯について現状はいかがでしょうか。

うか。

健康福祉担当理事

町が管理をしています、社会福祉施設は福祉センター、市内の福祉センター、保育所などが主なものです。防犯対策の現状としては、各施設ごとに、年間の避難訓練実施計画に基づきました定期的な防犯訓練を、主にサスマタを使った訓練や警察へ連絡するといった連絡体制をきっちりやっていくことを中心に実施をしております。また保育所では時間外や保育中も施錠してしまして、勝手に園内に入るようなことが出来ないようにしています。今後の課題ですけれども、今年7月に神奈川県で障害者支援施設において、大変痛ましい事件が発生をいたしました。国のほうから、社会福祉施設入所者の安全確認を図るために、日中及び夜間における施設の管理・防犯体制、職員間の連絡体制や警察等関係機関との協力・連携、通報体制の構築、それから地域住民との連携体制強化に努めること等の注意喚起の文書が届いています。これを機に、従来の防犯対策についても、再度、検証の見

直しを行い、更なる防犯対策強化に資するような取組みを考えてまいりたいと思っております。

議員

各施設で勤務する職員に対して、防犯に対する共通認識を持つていただくことが重要かと思いますが、研修や訓練などを実施していくことはお考えですか。

健康福祉担当理事

基本的には毎月一回、訓練を実施しております。また消防署、警察の方に来ていただいで、勉強会等をやっているところもあります。まだ出てないところにつきましては、やって行きたいと思っております。





榎本 健治 議員

・一般国道42号
新宮紀宝道路
(河口大橋)について

新宮紀宝道路

議員

昭和19年に河口大橋の建設を陳情し、国は工事着手をしていますが、戦争により中断をされました。平成14年に新宮市の住民グループが海岸道路の建設を推進する会を発足し、また平成15年には鶴殿村で住民グループ、架け橋虹の会が発足し、運動をスタートしています。つまり近畿自動車道紀勢線河口大橋は、しっかりと縦糸で繋がってきた事

業であると認識しています。紀宝町、新宮市の両首長さんはじめ、関係各位の努力が実って事業化になりました。現在の進捗状況についてお伺い致します。

産業基盤整備担当理事

本年2月の機能回復道路等意見交換会や関係機関との協議を経て、予備設計が完了したことから、紀南河川国道事務所主催の道路設計及び用地幅杭打設に関する説明会を開催し、延べ387名の方にご参加を頂きました。この説明会が終わりまして、用地幅杭の打設を7月14日から紀宝町内での作業が開始され、月末現在の進捗率は約94%。また町も独自の取組みとして、7月19日から1班2名体制の4班で用地対象者146名の方々に意向調査を行っています。

議員

ようやく94%の幅杭が打設されたなか、住民が不安視する点ということで、特別委員会のほうでも様々な不安視する点というのも挙げられております。まず一点目が土地契約に関するところでございませう。契約後の退去については

猶予期間を必ず設けていただきたいという住民の声もございませう。町としてはどのように対応していくのか。

産業基盤整備担当理事

立ち退きから新しい転居先までの間でございますが、用地を契約後、建築が必要になってまいります。だいたい一年以上以上かかるというふうに考えております。その間、借家住まいをしてくださいとか、そういうのではなく、新しい家を建てていただく間は待つて、引っ越しが終わった後、全ての引き渡しを受けて、解体、撤去になろうかと考えております。

議員

もう一点は三角地や残地の問題です。これは個人様の家に対して、半分ないし、3分の1、3分の2の用地に対して、ご提供いただいて残った残地についての問題が多数あります。しっかりと行政のほうで進めていただくことを要望させていただきます。次に代替地の問題ですけども、意向調査を受けて、各希望地区での代替地の確保について、各希望地区での代替地の確保の状況は。

産業基盤整備担当理事

特に鶴殿区内での希望を多くの方がされておられますので、希望に沿って、町としても個人さんが所有されている用地とか、当たっていききたいと考えております。高台では1箇所、町有地として購入している。個人さん一人ひとりのご意見のなかでは、どのあたりがいいとかというふうな調査をして、希望されている方々が満足されるように努力をしてまいります。

議員

特に代替地の希望は鶴殿地区が多いということで、約43軒の方が今現在、鶴殿地区でという希望もだされて、まだ分からないと答えている方もあります。しっかりと代替地の確保には引き続き努めていただきたいと思います。次に公園整備の考え方ということで、現在、本線に入るところに、なかよし広場という公園がございます。もちろん公園整備については図つていくという意向も示していただいておりますが、再度、公園整備についての考え方をお伺い致します。

住民サービス担当理事

一般国道42号新宮紀宝道路では、広場の全域が事業用地として計画されておりますため、代替となる公園・広場の整備が必要と考え、十分に検討してまいりたいと思っております。

議員

整備していくなかで振興策を今後示されると思います。が、町づくりの振興策が道の駅になるのか、どういうかたちにするのかわかりませんが、一体的な公園整備を進めていただきたいと思います。

企画調整課長

インターチェンジ周辺で気軽に立ち寄っていただき、旅の疲れを癒やしていただけるような施設の整備ができないか、部内で意見をだしあつて検討しています。そのなかで、公園の整備も含めて出来ないかと考えております。町内外の方、観光客の方等、交流につながる憩いの場としての公園機能も備えた施設整備を行い、賑わいと交流を生み出せるよう、引き続き検討させていただきます。とさせていただきます。

議員

和歌山県からも集客できる

ような公園整備を努めていた
 だきたい。現在34億の基金が
 存在している。交付税措置も
 76.8%ということ、し
 っかりとした基金を貯められ
 ている。一方で合併特例債が
 あと4年活用できる。紀宝町
 の総合計画のなかにも、中心
 地賑わいゾーンという位置
 で、町づくりを進めていこう
 と平成18年1月10日、両町村
 が合併しております。しか
 し中心地は現在、衰退をして
 いる。100年に一度の事業
 ということで、思い切った振
 興策が必要である。町長の考
 え方をお伺いします。

町長

新宮紀宝道路を基本
 としたかたちの中で、
 地域の振興発展にとつ
 て欠かせない大きなイ
 ンパクトのある事業だ
 と思っております。有
 利な制度等を利用でき
 る範囲で、有効的なか
 たちの事業を行ってま
 いりたいと思います。

議員

いよいよ来年度から、
 橋の橋脚部分も目に見
 えるかたちで進んでい
 く河口大橋新宮紀宝道

路は、しっかりと縦系で繋が
 っていることを全員で共有
 し、議会も次のステップに議
 論をしていく時がそろそろ来
 ているのではないかと思います。

※この他に「18歳選挙権」「全
 国学力・学習状況調査につい
 て」の質問がありました。

※榎本議員の一般質問につ
 いては、本人のホームページ
 に掲載しています。

(<http://www.enomotokenji.com/ipan.htm>)



地方創生まちづくり特別委員会研修会

本議会を傍聴してみませんか。



本会議では、町民の皆様の生活に関わる重要な問題について、熱い議論が交わされています。
 町政への理解を深めていただくためにも、皆様の傍聴をお待ちしております。

■本会議の傍聴

本会議の議事の公開の原則により、会議中どなたでも傍聴できます。

■傍聴の手続き

役場本庁舎3階の議会事務局で受付を行ってください。
 先着順により受け付けています。傍聴席の定員は40席です。



※傍聴される方は、議場入口に掲示しております傍聴規則をお守りいただきますよう、お願い致します。

●お問い合わせは紀宝町議会事務局まで (☎0735-33-0342)

次回定例会の予定

12月13日（火）開会予定です。
傍聴は議会事務局で受付ています。

議会生中継について

公共施設5ヶ所のロビー等において、町議会本会議の様を生中継していますので、議会日程をご確認のうえ、ぜひご覧ください。

- ① 役場本庁舎
 - ② 生涯学習センターまなびの郷
 - ③ 福祉センター（鶴殿）
 - ④ 保健センター（神内）
 - ⑤ 相野谷診療所
- ※放映時間については、当該施設開館時間内となりますので、ご了承ください。

インターネット録画中継について

町議会では開かれた議会を目指して、平成23年6月定例会分からインターネットによる録画中継を実施しております。映像をご覧頂くには、
◎紀宝町ホームページ↓「町議会情報」↓
「インターネット議会中継」をクリック

可決された議案（9月）

- 東紀州農業共済事務組合の解散に関する協議
- 東紀州農業共済事務組合規約の変更にに関する協議
- 東紀州農業共済事務組合の解散に伴う財産処分に
関する協議
- 平成28年度一般会計補正予算
- 平成28年度紀宝町国民健康保険特別会計補正予算
- 平成27年度決算の認定
- 一般会計歳入歳出決算
- 国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- 診療所事業特別会計歳入歳出決算
- 井内地域開発事業特別会計歳入歳出決算
- 町営浄化槽整備推進事業特別会計歳入歳出決算
- 水道事業特別会計決算
- 人権擁護委員の推薦につき意見を求めること
- 人権擁護委員に大岡春雄さんを推薦することに
同意しました。

編集後記

今年度、紀宝町は、高校や大学と連携した取り組みをしています。その中の学校法人角川ドワンゴ学園が運営するN高等学校の生徒さんが、10月初旬に町内で職業体験を行いました。4名の学生さんが紀宝町を訪れ、町内各地を視察したり、熊野川体感塾 川舟工房で權づくりに取り組んだりしました。活動の様子も見せていただきました。初日の開校式では硬い表情で写真におさまっていた学生さん達が、4泊5日の職業体験の間に、活き活きとした表情に変わっていったのが印象的でした。成果発表会では、職業体験を通して得た学びや、また町の活性化のための意見・アイデアを客観的な視点から提言してくれました。今後の地方創生を考える上でも、必要な意見であったと思います。

このような取り組みをきっかけに、さまざまな人との連携を深め、住民の皆様とともに地域の活性化を進めていくことが大切だと感じました。（文責 浅田）

「議会だより」（39号）

編集委員 浅田 和江

市川 潔

山本 精一